

「評価結果の概要」

センターが把握している圏域の特徴

【圏域の人口等】平成28年(2016年)10月1日現在

総人口 49,091 人 / 高齢者人口 11,994 人 / 高齢化率 24.43 %

【圏域の特徴】

南北に縦長の圏域となっており、北部は主にマンションや戸建ての多く、南部は主にアパート、連棟、戸建ての多い地域になっています。

概ね南部の地域が高齢化率、独居率ともに高い状況となっています。担当校区6校区(寺内、緑地、北条、小曾根、高川、豊南)のうち、豊南校区が一番高い高齢化率(35.28%)となっています。

センターの取組方針や特徴

6校区の地域福祉関係者、社会福祉協議会、行政機関、事業所等関係機関との連携を重視しながら活動し、相談等に確実に対応できるよう全職員で取り組んでいます。

6校区すべてでサロン参加や、地域教室、高齢部会を開催し、地域の活動にも積極的に参加しながら、顔の見える関係づくりに努めています。

見守りローラー作戦を展開し、地域住民への周知や地域の実情把握から支援につなげていけるよう活動し、対象者以外のご家族も含め、世帯全体の支援を行っています。

医師会、歯科医師会、薬剤師会などと連携を図り、それぞれの活動について地域住民に広げる活動を展開しています。

総評

医療と介護の連携や、地域情報の把握活動を軸としながら全体的にバランスよく運営しています。今後は、研修内容の共有や、支援困難ケース及び虐待対応ケースのより正確な記録の徹底等の取組が望まれます。

好事例

○介護予防事業について、未返信者訪問において、自宅の様子や本人面談の結果等から得られた情報をもとに、校区ごとの傾向を確認し、ファイリングしています。

○総合相談支援業務について、複数職員がいない場合であっても緊急性の判断が行えるよう、総合相談支援標準フローの中に「初期対応レベル」、「緊急レベル」を設定し、統一された判断基準に基づいて対応しています。